



みんなでECO.

東西線妙典駅に駅補助電源装置を導入 回生電力のさらなる有効活用による省エネ推進

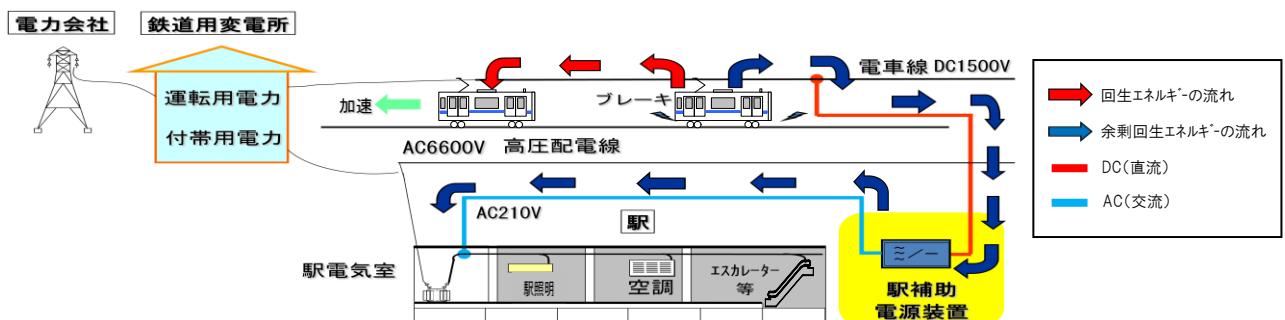
東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、2020 年度に向けた長期環境戦略「みんなで ECO.」を掲げ、積極的に再生可能なエネルギーの有効活用を図っています。

このたび電車がブレーキをかけたときに生じる回生電力を駅施設に供給することができる駅補助電源装置を東西線妙典駅に設置し平成 26 年 6 月 14 日始発より稼働しました。

電車がブレーキをかけたときに生じる回生電力を他の走行中の電車の加速に必要な電力として使用することで省エネルギー化を図ってきましたが、消費しきれない余剰分の回生電力を駅補助電源装置を介して、照明や空調、エスカレーターなどの駅施設用の電力に変換し活用することで更なる省エネルギー化を図ります。

駅補助電源装置の稼働により、1 日当たり約 600kWh（一般家庭の 60 軒分の消費電力に相当）の省エネ効果を見込んでいます。

今後、平成 26 年度中に駅補助電源装置を 7 駅に設置する予定です。



回生ブレーキで発生した回生電力（直流 1500V）を駅補助電源装置を介して交流 210V に変換し、駅施設の照明や空調、エスカレーターなどに活用します。



駅補助電源装置

| | |
|------|-----------------------|
| 入力電圧 | 直流 1500V |
| 出力電圧 | 交流 210V、3 相 50Hz/60Hz |
| 定格出力 | 200kW—30 秒 |
| 冷却方式 | 自冷 |
| 設置場所 | 屋外 |